

星空 観望会

毎週土曜日 午後7時～9時
場 所 西合志図書館天文台
参加費 無料
※雨天・曇天の場合中止します。
天候が優れないときは、来館前に電話でご確認ください。

☆自宅で観る10月の星空☆

天頂付近には秋の四辺形が見えます。秋の星座の中では比較的明るい星からなり、形もきれいに整っています。この四辺形から北東に一列に並んだ星々が**アンドロメダ座**になります。
四辺形の東の辺を南へとたどると、秋の星座ではただひとつの**一等星**が見つかります。
みなみのうお座のフォーマルハウトです。周りに明るい星がなく、南の空にひとつ寂しく光るので、秋のひとつ星と呼ばれます。

いきいき

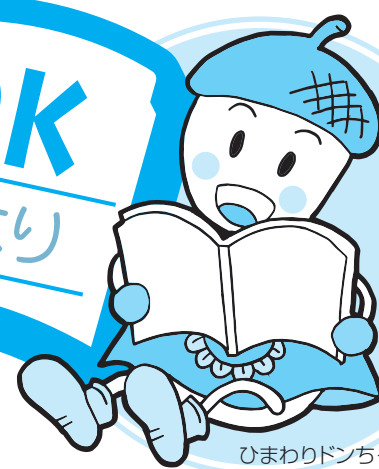
健康・医療・闘病記コーナー
～あなたらしく生きるために～

だれもが健康で幸せな日々を願うもの。しかし、これまであたりまえだった日常が一変するような突然の事故や病気。『病気の理解』『手術や治療の方法』『家庭での介護やリハビリ・食事療法』などなど、速やかに知りたいことが生じます。これらの情報に合わせ、患者やその家族などが綴った随筆・記録・伝記など広範囲にわたる闘病記の資料を一カ所に集めた『いきいき健康情報・医療・闘病記コーナー』が合志図書館に誕生しました。『心』『脳』『神経』『骨・筋肉』などが病名で分けられ、予防・治療・食事療法・リハビリ・介護施設の情報など不安の解消や心の支えにしたいだけの情報がとてもわかりやすく調べやすくなりました。さらに館内ではインターネットによる検索もできます。市民の皆さんが“あなたらしく生きるために”『いきいき健康・医療・闘病記コーナー』をどうぞお役立てください。なお、医療従事者用の医学専門書はありません。

移動図書館車 「ひまわり ドンちゃん号」巡回

現在、合生・須屋・野々島・上生を巡回しています。年間巡回予定表は西合志図書館・移動図書館車にあります。

BOOK 図書館だより



ひまわりドンちゃん

西合志図書館 (☎242-5555)
合志図書館 (☎248-5754)



台志市立 図書館まつり

と き 11月3日(土) 4日(日)
ところ 西合志図書館・合志図書館
内 容 作品の表彰式、雑誌・図書リサイクル、自転車紙芝居さんなどの楽しいイベントが盛りだくさん！ぜひお越しください。
問い合わせは西合志図書館・合志図書館まで
※一部内容が変更する場合がありますので、後日配布するチラシ等をご覧ください。

図書館掲示板

★西合志図書館 (☎242-5555)

おはなし会 (入場無料)
と き 毎週土・日曜日 午後2時～
10月6・7・13・14・20・21・28日
11月3・4・10・11・17・18・25日
ところ 西合志図書館「おはなしの部屋」
押し花しおり作り教室
と き 10月21日(日) 午前10時～
ところ 西合志図書館「集会室」
内 容 押し花を使った手作りのしおり作り
対 象 小学4年生以上で合志市内にお住まいの人
申 込 先着20人 (10月2日から受付)
参加費 無料
申し込み・問い合わせ先 西合志図書館
紙芝居がやってくる
と き 10月27日(土) 午後2時～
ところ 西合志図書館周辺
※ご自由に参加できます。
雨天時は室内になる場合があります。

10月の「マインドシアター」はお休みします。

★合志図書館 (☎248-5754)

ふれあい映写会 (入場無料)
と き 10月21日(日) 午後1時30分～
ところ 「多目的研修室」合志図書館よこ
題 名 『スノーピー～スノーピーとかぼちゃ大王～』ほか1本
ふれあいおはなし会 (入場無料)
と き 毎週土曜日 午後2時30分～
10月6・13・20・27日
11月10・17・24日
ところ 合志図書館「おはなしコーナー」

10・11月の休館日

10月1日(月)・9日(火)・15日(月)・22日(月)・
29日(月)・31日(水)
11月5日(月)・12日(月)・19日(月)・26日(月)・
30日(金)

新 着 本

一般書

『阿蘇に学ぶ』 須藤 靖明
『発達障害の子を育てる母の気持ち』 松下 薫
『灰色の女王』 アン・ビショップ
『交通事故の法律知識』 自由国民社
『団塊世代100日間世界一周の船旅』 多田 稔
『くり返し焼いて見つけたお気に入りレシピ』
ちいさな焼き菓子とおすそわけスイーツ』 稲田 多佳子
『男はつらいらしい』 奥田 祥子
『いっぺんさん』 朱川 湊人
『成功する個人事業の始め方』 成美堂出版
『ヒーリングエクササイズ』 寺尾 夫美子
『和風を楽しむねんどの花12ヵ月』 西山 朝子
『性のこと、わが子と話せますか?』 村瀬 幸浩
『労働CSR入門』 吾郷 真一

児童書

『しほちゃんのシフォンケーキ』(絵本) 中川 ひろたか
『魔法使マテリアル目覚めの刻』 藤咲 あゆな
『お金もうけは悪いこと?』 クレメンツ・アンドリュ
『いい夢ひとつおあずかり』 小松原 宏子
『ペンギンかんそくたい』 斉藤 洋
『ハンナのかばん』 カレン・レビン
『ぼくのんびりがすき』 かさい まり
『まじょまつりでいこう』(絵本) せな けいこ
『いいたびボンボン』(絵本) 山下 明生

CD

『ユライ花』 中 孝介
『ラスト・ハイウェイ』 ボン・ジョヴィ
『キング最新演歌ベストヒット2007春』

新刊お薦め本

『傷』 深谷 忠記 著

強姦未遂と放火殺人。二つの事件の接点とは？二つの事件がつながったとき事件は終演を迎えるが、そのままでは終わられなかった。事件が終わった後にこそ複雑にからみ合う『傷』が真実を奏で始める。最後の最後まで読まなければタクトを振る指揮者はわかりません。フィナーレでは終わらない協奏曲(ミステリー)。



『佐伯泰英!』 宝島社出版部 編

「居眠り警音シリーズ」で著作が初映像化されたベストセラー作家と言えば佐伯泰英氏。ストーリーの面白さから若い女性のファン層が広がったとか。その佐伯氏が熊本、さらには菊池郡にも縁がある事をご存じですか？また、警音シリーズ21巻で登場した豊後関前藩の絵図ができたエピソードなど…ファンの気になる事が満載の一冊です！



「カラマーゾフの兄弟」

「カラマーゾフの兄弟」は1880年に出版された文豪ドストエフスキー最後の長編小説。特に昨年光文社から出版されたシリーズは、東京外語大教授の亀山郁夫氏が翻訳し、「リズムと勢いがあって読みやすい」と人気を集めている。「若い頃に読んで挫折した団塊の世代が再挑戦するだけ

ドストエフスキー 著

ではなく、巧みな仕掛けがちりばめられたミステリーの面白さが若い世代にもうけているのでは」との分析もあるが、男女の愛憎、幼児虐待、テロリズム、宗教、国家などのテーマが現代人にも十分通じていることも人気の秘密ではないだろうか。

今旬の本